

全国高等学校長協会生徒指導研究委員会 令和7年度研究テーマ「生徒指導提要と学校経営～ 発達支持的生徒指導の充実を目指して～」 に関するアンケート調査（校長先生用）

- ※ 貴職が勤務する学校についてお答えください。
- ※ 選択に迷われた場合は、最もあてはまる選択肢を選んでください。
- ※ 各項目で「その他」を選択した場合、その具体をご記入ください。

* 必須

□学校概要について

- ① 学校所在地の自治体名（都道府県名等）をお答えください。*

答えの選択



- ② 学校名をお答えください。（処理上お伺いするもので、決して公表はしません）*

回答を入力してください

- ③ 学校の主な学科名を1つお答えください。なお、複数学科設置の場合は、クラス数が一番多い学科を選択してください。*

普通科

専門学科・総合学科

□ 以下の各質問について、貴校の状況をお答えください。

1 貴校では、生徒の「自己存在感の感受を促進する授業づくり」を実践するために、学校全体でどのような取組を進める必要があると思いますか。貴校の現状を踏まえお答えください。（複数選択可）*

【自己存在感の感受を促進する授業】（生徒指導提要2.2.3）

授業において、児童生徒が「自分も一人の人間として大切にされている」と感じ、自分を肯定的に捉える自己肯定感や、認められたという自己有用感を育む工夫が求められています。

- ア 授業の中で生徒が活躍できる場の設定
- イ 授業の中で生徒が自分で選択したり決定したりする場の設定
- ウ 授業の中で生徒が安心して発言できる雰囲気づくり
- エ 授業の中で生徒が協働して学ぶ場の設定
- オ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が認め合う場の設定
- カ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が協力し合える場の設定
- キ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒がルールの意義を理解する場の設定
- ク ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が目標を共有する場の設定
- ケ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒による自発的・自治的な活動の場の設定
- コ 生徒の規範意識の定着を図る指導の基盤づくり
- サ 生徒の個別の状況の把握
- シ 生徒の個別の状況に応じた組織的な対応
- その他

2 設問1で回答した取組を進めるために、どのようなことが課題として考えられますか。貴校の現状を踏まえお答えください。（複数選択可）*

- ア 各教科の指導(学力向上に向けた指導)との両立
- イ 教職員の資質・指導力の向上
- ウ 「～授業づくり」を推進していくリーダーの育成
- エ 個別の指導・支援が必要な生徒への対応
- その他

3 貴校では、生徒の「共感的な人間関係を育成する授業づくり」を実践するために、学校全体でどのような取組を進める必要があると思いますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

【共感的な人間関係を育成する授業】(生徒指導提要2.2.3)

共感的な人間関係を育成する観点からは、授業において、互いに認め合い・励まし合い・支え合える学習集団づくりを促進していくことが大切です。

- ア 授業の中で生徒が活躍できる場の設定
- イ 授業の中で生徒が自分で選択したり決定したりする場の設定
- ウ 授業の中で生徒が安心して発言できる雰囲気づくり
- エ 授業の中で生徒が協働して学ぶ場の設定
- オ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が認め合う場の設定
- カ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が協力し合える場の設定
- キ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒がルールの意味を理解する場の設定
- ク ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が目標を共有する場の設定
- ケ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒による自発的・自治的な活動の場の設定
- コ 生徒の規範意識の定着を図る指導の基盤づくり
- サ 生徒の個別の状況の把握
- シ 生徒の個別の状況に応じた組織的な対応

その他

4 設問3で回答した取組を進めるために、どのようなことが課題として考えられますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

ア 各教科の指導(学力向上に向けた指導)との両立

イ 教職員の資質・指導力の向上

ウ 「～授業づくり」を推進していくリーダーの育成

エ 個別の指導・支援が必要な生徒への対応

その他

5 貴校では、生徒の「自己決定の場を提供する授業づくり」を実践するために、学校全体でどのような取組を進める必要があると思いますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

【自己決定の場を提供する授業】(生徒指導提要2.2.3)

児童生徒が、授業場面で自らの意見を述べたり、観察・実験・調べ学習等において自己の仮説を検証しレポートにまとめたりすることを通して、自ら考え、選択し、決定する力が育ちます。

ア 授業の中で生徒が活躍できる場の設定

イ 授業の中で生徒が自分で選択したり決定したりする場の設定

ウ 授業の中で生徒が安心して発言できる雰囲気づくり

エ 授業の中で生徒が協働して学ぶ場の設定

オ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が認め合う場の設定

カ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が協力し合える場の設定

キ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒がルールの意味を理解する場の設定

ク ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が目標を共有する場の設定

- ケ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒による自発的・自治的な活動の場の設定
- コ 生徒の規範意識の定着を図る指導の基盤づくり
- サ 生徒の個別の状況の把握
- シ 生徒の個別の状況に応じた組織的な対応
- その他

6 設問5で回答した取組を進めるために、どのようなことが課題として考えられますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

- ア 各教科の指導(学力向上に向けた指導)との両立
- イ 教職員の資質・指導力の向上
- ウ 「～授業づくり」を推進していくリーダーの育成
- エ 個別の指導・支援が必要な生徒への対応
- その他

7 貴校では、生徒の「安全・安心な『居場所づくり』に配慮した授業づくり」を実践するために、学校全体でどのような取組を進める必要があると思いますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

【安全・安心な「居場所づくり」に配慮した授業】(生徒指導提要2.2.3)

授業において、児童生徒の個性が尊重され、安全かつ安心して学習できるように配慮することも不可欠です。

- ア 授業の中で生徒が活躍できる場の設定
- イ 授業の中で生徒が自分で選択したり決定したりする場の設定
- ウ 授業の中で生徒が安心して発言できる雰囲気づくり
- エ 授業の中で生徒が協働して学ぶ場の設定

- オ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が認め合う場の設定
- カ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が協力し合える場の設定
- キ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒がルールの意味を理解する場の設定
- ク ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒が目標を共有する場の設定
- ケ ホームルーム活動等の機会を活用した、生徒による自発的・自治的な活動の場の設定
- コ 生徒の規範意識の定着を図る指導の基盤づくり
- サ 生徒の個別の状況の把握
- シ 生徒の個別の状況に応じた組織的な対応
- その他

8 設問7で回答した取組を進めるために、どのようなことが課題として考えられますか。貴校の現状を踏まえお答えください。(複数選択可) *

- ア 各教科の指導(学力向上に向けた指導)との両立
- イ 教職員の資質・指導力の向上
- ウ 「～授業づくり」を推進していくリーダーの育成
- エ 個別の指導・支援が必要な生徒への対応
- その他

9 貴校における発達支持的生徒指導の実践に関する校内研修会の実施状況をお答えください。 *

【発達支持的生徒指導】

発達支持的生徒指導とは、「特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるもの」

- ア 定期的に研修を実施している。

- イ 指導主事訪問などの機会にあわせて実施している。
- ウ 今後、実施を予定している。
- エ 実施していない。
- オ 生徒指導主事等の教員が、校外(教育センター等)での研修会に参加している。

10 貴校では、発達支持的生徒指導の取組に関する情報をどのような場面で共有していますか。(複数選択可) *

- ア 職員会議
- イ 生徒指導部や学習指導部の打合せ
- ウ 学年会議や担任打合せ
- エ 教科の打合せ
- その他

11 貴校の実情を踏まえ、発達支持的生徒指導の実践を通じて、どのような効果が期待されると思いますか。1つお選びください。 *

- ア 生徒の主体性の向上
- イ 生徒の自己肯定感や自己有用感の向上
- ウ 教職員の指導力の向上
- エ 教職員の不適切な指導の減少
- オ 生徒と教職員の信頼関係の向上
- カ 問題行動の減少
- その他

12 貴校の教職員は「発達支持的生徒指導」の意義を理解し取り組んでいますか。*

- ア 意義を理解し、それぞれの教員が意識して取り組んでいる。
- イ 意義を理解しているが、意識して取り組んでいるとは言えない。
- ウ 意義を理解しているとは言えない。

13 貴校では、複雑化・多様化する生徒または問題行動等に対応するため、どのような専門家や関係機関と連携・協働していますか。（複数選択可）*

- ア 中学校
- イ 近隣の高校
- ウ 学校医・学校薬剤師
- エ 部活動指導員
- オ スクールカウンセラー
- カ スクールソーシャルワーカー
- キ スクールロイヤー
- ク 警察
- ケ 法務省年支援センター（少年鑑別所）
- コ 保護観察所
- サ 保護司
- シ 児童相談所
- ス 保健所（健康福祉センター）
- セ 福祉事務所

ソ 民生委員・児童委員

タ 医療機関

その他

14 貴校において、主にどのような立場の教員が専門家や関係機関との連携・協働して対応するための窓口を担っていますか。（複数選択可）*

ア 校長

イ 教頭（副校長）

ウ 生徒指導主事

エ 教育相談担当者・特別支援教育担当者

オ 養護教諭

カ 学年主任

キ 担任

その他

15 貴校が、専門家や関係機関と連携・協働して対応することについて課題と感じていることは何ですか。（複数選択可）*

ア 担当教員が対応するための時間を確保することが難しい。

イ 専門家や関係機関の担当者の人員が不足しているため、情報共有のための時間や十分な支援を得ることが難しい。

ウ 連携可能な専門家や関係機関に関する教職員の知識が十分ではない。

エ 守秘義務等に関する考え方の違いなどから連携に問題が生じる場合がある。

オ 専門家や関係機関との連携に対する保護者の理解や同意が得られない場合がある。

- カ 専門家や関係機関との連携、連携支援の継続に係る経費を確保することが難しい。
- キ 特に課題に感じていることはない。
- その他

16 専門家や関係機関との連携・協働を通じた取り組みの中で、貴校が特に効果を実感している点について、具体的にご記入ください。

回答を入力してください

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

 Microsoft 365

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

Microsoft Forms | AI を活用したアンケート、クイズ、投票 [独自のフォームの作成](#)

このフォームの所有者は、応答データの使用方法についてのプライバシーに関する声明を提供していません。個人情報や機密情報を記載しないでください。 | [利用規約](#)